

2019年6月15日

△うるまYA!メニュー△

△今回のおすすめ△

NO
IMAGE

『死んでしまう系のぼくらに』

最果タヒ著 リトルモア
中央館 911.5 サ

第一詩集『グッドモーニング』によって、当時最年少の21歳で第13回中原中也賞を受賞した著者の代表作といえる第三詩集。現代詩というと、とっつきにくいイメージがあるかもしれませんが、「きみはかわいい」「大丈夫、好き」「ブラジャーの詩」「絆未満の関係性について」といったタイトル、日常的な言葉を使った語り口など、WebサイトやTwitter上で作品を発表していくスタイルも含め、今の若い人たちにも身近に感じられると思います。ちなみに、「図書館の詩」というタイトルの詩もあります。

△サイドメニュー△

NO
IMAGE

『永遠の詩04 中原中也』

中原中也 著 高橋順子 選・解説 小学館
中央館 911.5 ナ

上記の文学賞にその名を冠する中原中也。1937年(昭和12)年に30歳の若さで死去するまでに残したその詩は、今でも多くの人に親しまれていますが、近ごろは「異能力“汚れちまった悲しみに”を駆使して重力を自由自在に操るマフィアの幹部」といった人気漫画・アニメのキャラクターの名前として知る人も多いかも。こちらは彼の詩から41篇を選び、現代仮名づかい、選者の解説つきで読みやすくまとめられた1冊です。ちなみに、第14回の中原中也賞を受賞した川上未映子さんが巻末にエッセイを寄せています。

△うるまYA!メニュー△

△うるまYA!メニュー△

△うるまYA!メニュー△